

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要					
事業開始年度	平成17年度		根拠法令・例規等	地方公務員法第39条	
総合計画	大項目	06	健全で自立したまちづくり	問	担当課(室)
	中項目	01	簡素で効率的な行政運営	合	職・氏名
	小項目	04	人事管理	先	職・氏名
事務事業名		04	職員研修事務事業	電 話	0869-64-1808
				このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		
対象 (誰・何に対して)	病院会計・学校職員の一部を除き、臨時職員を含む全職員	
目的 (何のために)	職員の資質の向上を図る	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	市民感覚、進取性、創造力、経営感覚に富んだ資質をもち、限られた人的資源を最大限活用した少数精鋭で事業実施ができるよう政策形成・法制執務・自治体経営能力に優れた、改革意識の高い人材を育成すること	

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	職員研修事務事業	市独自研修の企画・主催と、研修センター等へ職員を派遣するための事務	

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
事業費	直接事業費	千円	1,823	2,416	1,730
	必要人員費	人	0.18人	0.27人	0.28人
	事業費	千円	1,315	2,125	2,332
決算額	事業費	千円	3,138	4,541	4,062
	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
その他(振興協会助成金)	千円		1,097	831	
一般財源	千円	3,138	3,444	3,231	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標	結果指標量	人	1,169	1,243	1,434
	対前年比	%	-	106.3%	115.4%
	活動コスト	円	2,854,700	843,334	1,081,932
	単位当たりコスト	円	2,442	678	754

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
成果指標名	成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
	単独研修職員理解率(H21・H22データ無し)	目標値(A)	100	100	100	95
		実績値(B)			89.8	到達目標値
		達成率(B/A)	0.00%	0.00%	89.80%	100
成果指標設定の考え方・式や説明						
議会答弁研修44/44 笑顔の効果アップ研修53/53 係長パワーアップ研修18/21 人権啓発研修299/343 合計(414/461)						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  A
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  B
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  B

進行年度(H24年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	研修の理解度は、講師によって左右されることが多い。できるだけ多くの講師の話を聴講し、理解度が深まる研修の実施につなげます。						

総合評価		
単位当たりコストは若干上がったものの、研修に対する満足度の数字は90%を超えている。理解度満足度をさらに上げるため、育てたい人材増を明確にした上で、いい研修計画を立て、人材育成を図ります。	総合評価	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  B

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	職員研修計画に基づき、職員に対して研修の機会を設けなければならない規定ではあるが、現実はやられ感が多く聞かれる。自学できる職員を多く育て、それ以外の職員をいかに目覚めさせるかということを常に考えて、取り組みを進めたい。						

事業の意図する成果とつながら成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する